

県大 jiman

2023 FEBRUARY
031
滋賀県立大学広報誌

特集1

県大の授業をのぞき見

特集2

県大いきもの散歩

教員紹介

突撃!! jiman な先生 上町達也准教授

After School Report —— アートの森

コラム —— 空きコマ何する？



県大 jiman

第31号のテーマは「ひとやすみ」です。
あわただしい日々の中で、
あなたがひとやすみ出来る時間や場所がありますか？
今回は、たくさんの情報が詰まった授業紹介から、
ひとやすみしながら見れる県大ならではのいきものたちまで、
大学で過ごす全ての時間をよりよくなるための
見どころ満載の特集となりました。
日々成長を続けていく大学生活。大きく一歩前進する前に、
「ひとやすみ」してみたいはかがでしょうか。

CONTENTS

特集

- 03 県大の授業をのぞき見
- 07 県大いきもの散歩

県大 REPORT

- 09 突撃!! jiman な先生 上町 達也 准教授
- 11 After School Report アートの森
- 12 コラム 空きコマ何する？
- 13 滋賀県立大学 SDGs week

(2022年11月5日～11日)

編集後記 テーマ：自分にとっての「ひとやすみ」



世界に自分と音楽しかなくなる時間
夜にペランダで目を閉じて
ヘッドホンで爆音で音楽を聴く
地域文化学科 3年 櫻木 遼吾



宝塚歌劇
現地に足を踏み入ると、そこはもう別世界。
最高に“映え”なひとときを与えてくれます。
地域文化学科 3年 幸田 朱加



ゲーム実況視聴
好きなことを好きと言える人たちの
配信を見ると癒されます。
人間看護学科 2年 西田 千尋



プレイ時間は程々に
好きなゲームをみんなでするのが
1番好きな時間です。
機械システム工学科 2年 岸 和俊



庭
庭に来るスズメを
ながめています。
OB 高杉 昭吾



ギャラリー喫茶おとくら
コーヒー淹れたりワッフル焼いたり。
(お待ちしております)
地域文化学科 1年 小畑 結子



大学図書館
いつもここでのんびりと。時には課題に
追われて参考文献探しの旅に出掛けます。
地域文化学科 1年 堀 鞠音



聴く
通学の時間は音楽をいつも聴いています。
歌詞を聴くこの時間が大好きです。
地域文化学科 1年 米山 さくら



バス
運転手さん同士が手を挙げて
挨拶している瞬間を見るのが好きです。
地域文化学科 1年 清水 理子



事務局
西村 知子 岡 拓実

学生広報スタッフ大募集！

広報誌作成グループでは、県大 jiman の作成に参加してくれる
学生を募集しています。
私たちと一緒に、県大の素敵な「jiman」をしてみませんか。
デザインや編集の専門知識がなくても大丈夫です。
外部のデザイナーさんや編集者を招いて勉強会なども行う予定ですので、
興味のある方は、気軽にお問い合わせください。
Mail:kendaijiman.tw@gmail.com

Twitter:@kendaijiman



年2回発行

夏号7月上旬
冬号2月下旬

滋賀県立大学広報誌「県大 jiman」第31号
発行 | 滋賀県立大学広報戦略委員会
編集 | 広報誌作成グループ
〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500
TEL | 0749-28-8200 FAX | 0749-28-8470
E-mail | keiei_kikaku@office.usp.ac.jp
発行日 | 2023年2月
www.usp.ac.jp
紙面デザイン：学生スタッフ
写真：学生スタッフ 撮影場所：大学図書館1階

県大の授業を のぞき見

各学部の特徴ある授業をゆるく紹介していきます。今回のテーマは「ひとやすみ」ということで、ここでは一息ついて、県大の授業を「のぞき見」してみてください！

興味があることリスト

- ・ 外来種問題や地球温暖化
- ・ 環境と社会の関わり
- ・ 建築と環境デザイン
- ・ 植物、生物資源や農林水産

- ・ 日本の歴史、文化や現代社会
- ・ 人とモノの関係やデザイン
- ・ 食と健康の関係や人の食環境
- ・ 人の行動や教育環境
- ・ 異文化や外国語の向上

- ・ 地域創生や地域活性化
- ・ 地域の方との交流
- ・ 滋賀県の産業や企業

A

C

E

B

D

- ・ 金属や高分子などの材料開発
- ・ 機械の設計や開発
- ・ 電気、電子の開発や情報技術

- ・ 看護師の仕事
- ・ 人と健康教育の関わり
- ・ 看護知識、技術

A 環境科学部

環境生態学科、環境政策・計画学科、環境建築デザイン学科、生物資源管理学科

琵琶湖とその周辺地域をフィールドとし、実践的な環境教育が重視されている。自然科学と社会科学の面から環境問題を追求できる。



のぞき見

環境生態学科 琵琶湖環境学、環境毒性学
環境政策・計画学科 ファシリテーション技法・演習、市民参加論
環境建築デザイン学科 景観計画、CAD 演習Ⅰ～Ⅱ
生物資源管理学科 生物資源管理学実験・実習Ⅰ～ⅩⅠ、植物生産学
etc.

ピックアップ!

生物資源管理学実験・実習Ⅹ

キーワード：「一台400万」「測量のプロとの交流」

一台400万円もする測定器を用いて行う測量の授業。距離や高低差など、様々な項目を測定する。

測量のプロの方が、実験助手さんとして丁寧に教えてくださいます！



3回生 Fさん

B 工学部

材料科学科、機械システム工学科、電子システム工学科
※令和5年度から、「材料科学科」は「材料化学科」に改称します。



工学における様々な分野において、次世代の工学で必要な人と自然環境に調和した新しい科学技術を創造する。

のぞき見

材料科学科
有機化学Ⅰ～Ⅳ
セラミックス材料

機械システム工学科
機械システム工学セミナー
エネルギー変換工学

電子システム工学科
アルゴリズムとデータ構造
集積回路設計基礎
etc.

ピックアップ!

機械システム工学セミナー

キーワード：「分解」「プログラミング」

簡易カメラや目覚まし時計を分解したり、簡単なロボットのプログラミングをする。

基礎中の基礎を学ぶ授業だが、授業ならではの体験ができるためとっても面白いです！



1回生 Kさん



C 人間文化学部

地域文化学科、生活デザイン学科、生活栄養学科、人間関係学科、国際コミュニケーション学科

「地域」と「生活」から人間文化を考え研究する。
学科が5つあり、県大の学部の中で最も多い学科数を持つことが特徴。

のぞき見

地域文化学科
考古学実習Ⅰ～Ⅱ
中国地域文化論

生活デザイン学科
色彩学
基礎服飾デザイン

生活栄養学科
嗜好と調理実習Ⅰ～Ⅱ
食品機能科学

人間関係学科
心理学基礎
現代ジャーナリズム論

国際コミュニケーション学科
海外留学
サブカルチャー交流論

etc.

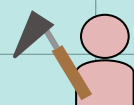
ピックアップ!

考古学実習Ⅰ～Ⅱ

キーワード: 「発掘調査」「先生との交流」

専門の時代が異なる2人の考古学の教員のもとで、
発掘調査の方法や報告書作成の基本などを学ぶ。

実際に発掘調査で使用する道具の扱い方を、
仲間や先生方と楽しく学べます!



3回生Kさん



D 人間看護学部

人間看護学科

「人が人として生きる」ことを支える看護のあり方を探求する。
人間学や看護学・医学の専門科目はもちろん、実践にも力を入れられる。

のぞき見

基礎看護技術Ⅰ～Ⅳ
〔母性・小児・老年・成人・精神・在宅〕看護学概論
国際看護学



etc.

ピックアップ!

基礎看護技術Ⅰ～Ⅳ

キーワード: 「実習で生きる」「援助練習」

患者さんを全人的(心理的・社会的・身体的、全て)に捉えながら、
実際に援助練習を通して「患者さんを安全に援助するには」「患者
さんが安楽に過ごすには」を学ぶ。

大変なことも多いですが、
この授業では、実習で使う知識と
技術がたくさん学べます!



2回生Nさん

E その他

「地域教育プログラム」のもと、県大オリジナルの授業を通して
日々変化する社会の中で生きるチカラを伸ばすことができる。

のぞき見

地域コミュニケーション論
地域づくり人材論
地域診断法
地域共生論

etc.



ピックアップ!

地域コミュニケーション論

キーワード: 「滋賀県知事」「集中講義」

集中講義のひとつで、地域の方々とコミュニケーションを
取れることがこの授業の醍醐味。
対話は共同作業を通じて、リアルな地域課題とその解
決策を考える。

授業のゲストはなんと滋賀県知事!
とても貴重なお話を聞くことができました。



3回生Sさん

※今回紹介させていただいたコメントは、あくまでも学生個人の意見です。

県大 いきもの散歩

鳥編

自然が豊かな県大のキャンパスではさまざまな生き物を見ることができます。
今回はその中でも鳥たちにスポットをあてて紹介します。

カルガモ



県大に一番たくさんいるカモ。
環濠を優雅に泳いでいる。
くちばしの先端が黄色いのが特徴的。

オオバン



英語名は as bald as coot
（「つるっぱげ」の意）
かわいそう!!

ダイサギ



「シラサギ」はアダ名。
夜見かけるとびっくりする。

カワウ



カギ状のくちばしの特徴。
複数羽で追い込み漁をする。

トンビ



よくカラスと戦っている。
外でご飯を食べていると狙われる。
頭上にご注意!

アオサギ



語源は「オオサギ」
だから青くないよ!
夜に光るといふ伝説がある。

今回紹介した鳥たち以外にも
魅力的な鳥たちがたくさんいます。
ぜひキャンパスを散歩しながら、
お気に入りの鳥を探してみてください!

突撃!!

jimamaな先生

先生の研究について教えてください。

野生のアジサイの花はたくさんの小花の集合体で、虫を呼ぶ派手な少数の小花と種を作るたくさんの地味な小花で構成されています。私たちが普段目にするボール状のアジサイの花は虫を呼ぶ小花のみの集合体で突然変異によるものです。突然変異でできたアジサイの花は野生の状態では生き残ることが出来ません。人間が野生群落で見つけたこの突然変異個体を大切に維持し、育種に利用してきました。アジサイの虫を呼ぶ小花は桜の花びらと違って散りません。この花びらは普通の花の萼が変化したものであるため、散らずに虫を招き続けます。このような散らない花びらの性質をもつ花は他にもあり、食堂の横の花壇にある千日紅がそれに当たります。アジサイや千日紅といった花がなぜ散らない花の特性をもっているのかという研究を主にしています。



▲変異型のアジサイ（左）と野生型のアジサイ（右）

その研究をするきっかけは何ですか。

学生の頃は野菜の研究をしていて、特にトウガラシの病気の抵抗性の研究に力を入れていました。その後、就職で京都大学の農場で研究する教員になったときに花の分野の教員になりました。その農場の植物園にあるアジサイを学生の実験実習で扱うなかで、すごく面白い花だと思ったことがきっかけです。

アジサイの魅力をお教えてください。

アジサイの魅力は2つあって、1つ目がアジサイの花は植物の形としては珍しいボールのような形をしている点です。そしてもう1つは、研究内容でもある花が散らないという点です。花びらが散らないということは花を利用する人間にとって美しさを長く楽しむことができる長所となります。普通の花であれば、農家が花を作り、出荷してから、市場、花屋を経由して消費者の手に届くまで花を散らさずに美しく維持することは非常に難しく、色々なエネルギーや薬品を用いることでそれが実現できます。しかし、アジサイはその性質から店で買った後も長くその花の美しさを感じられることができ、その部分に惹かれます。

大学ではどのようなことを大切に学生と研究をしていますか。

花の美しさを引き出すことを研究しているので、学生には毎日植物に触れてもらうようにしています。そして、1つでも多くなにかを発見してもらい、植物を感じてもらうようにしています。その中で学生が得た知識や発想が間違ってもそれを否定せずに、僕の知識などをアドバイスします。一方で、学生の意見は僕が思いつかなかった着眼点を持っていることもあり、一緒に研究をするような感覚でいます。



▲アジサイを研究する学生の姿

花の魅力をお教えてください。

花は、生きていくため必要なものではないけれども、無意識的にも非常に心を落ち着かせることができること

が魅力の1つです。また、僕は研究者なのでやはり花の形に興味があって、花は特定の虫に来てもらうためにその虫に合わせて特定の形にしているので、植物1つ1つが全然違う。教科書通りの形の花があまりないということも魅力です。

31号のテーマでもある「ひとやすみ」という言葉をきいて思い浮かぶスポットはありますか。

環境科学部棟の3階に僕の部屋があるのですが、その琵琶湖側にある非常階段からの景色を見ることが、僕の「ひとやすみ」です。時間によっても見える景色が変わるのですが、特に夕方の景色は夕日と琵琶湖が合わさってとても美しい景色です。



▲環境科学部棟から見える景色

この記事を読む新入生に滋賀県立大学の良いところを一言お願いします。

良いところのひとつは琵琶湖に近いということです。琵琶湖が研究のフィールドワークにもなっている大学はここだけです。また、これは環境科学部生にむけてになりますが、講義をする場所と農場がものすごく近いところも良いところの1つです。他の大学であれば、講義をしているキャンパスから農場がとても遠くてなかなかたいへんですが、この大学だと、座学をしつつ、その流れで農場へということが出来ます。普通の大学ではなかなか味わえないスタイルの勉強ができることがうちの良いところですよ。



▲滋賀県立大学の農場

環境科学部 生物資源管理学科

上町 達也 准教授

京都大学農学部助手を経て、滋賀県立大学環境科学部生物資源管理学科の助手、助教、2013年4月に准教授となる。専門分野は花弁園芸学で特にアジサイの研究を行っている。



アートの森

今回は 2021 年度に新設された美術系サークルである「アートの森」さん取材しました。さまざまなアートを扱うみなさんの活動や休日などについてお話を伺いました。

普段の活動について教えてください

僕たちはジャンルを問わないアート作品の制作を行っています。芸術全般、という意味を込めて「アートの森」という名前にしました。ここが他の美術系のサークルさんたちと違う部分かな、と思っています。

主にアナログ・デジタルのイラストを制作しているメンバーが多いですが、写実的なデッサンや立体作品などを制作している人もいます。他にも絵の具を使ったり編み物やアクセサリを作成したりなど、自宅で行っている趣味をアートの森でもやってほしいと思ひ、好きに作ってもらっています。

2021 年度に新設されましたが、きっかけは何でしたか？

僕がサークルに入るタイミングを逃しまして…何か熱中できることは無いかと考えたときに、3年ぶりに絵を描いてみようと思いました。最初は SNS に載せていたのですが、反応をくれる人たちがいて、次はその人たちが絵を載せて…そうやっていくうちに話すようになり、サークルを作りたいという話になりました。

はじめは軽いノリという感じだったのですがだんだん本気になってきて、サークルを立ち上げられる最少人数の7人、いろいろな人たちに助けをもらいながら集めて設立しました。

今では2年生7人、1年生15人の計22人のメンバーで活動しています。

アートの森の休日の過ごし方があれば教えてください

今年度は夏休みの長期休暇を利用して日程が合ったメンバーで美術館に行ったり、県内の美術大学の文化祭を見学したりしました。

美術館ではプロの方たちの絵から迫力を感じましたし、とても刺激を受けました。色使い、何をモチーフにしているのか、作品のテーマ、そして作者の考えなどを落とし込んだ作品ばかりでとても勉強になりました。美術大学の文化祭では、「年齢の近い人たちがこんなに凄い作品を作るんだ」と良い衝撃を受けました。

僕個人で言うと、好きなアーティストがどのような影響を受けて作品を作っているのかに興味があります。なので、好きなアーティストに影響を与えた人や作品を調べたり見たりして休日を過ごすこともあります。

最後に読者の皆さんにメッセージをお願いします

まだまだ未定ですが今後は映像作品や個展などにも挑戦したいと考えています。2年生以上の方々も含めて、ぜひアートの森に来てください！



▲学園祭の展示品

Information



アートの森代表
環境科学部生物資源管理学科2年
榎本清志朗さん

アートの森

活動日時：月曜日、金曜日の16時30分から18時30分

活動場所：部室棟（体育館裏）



※2022年10月時点

ART_NO_MORI

担当スタッフ：西田 千尋、小畑 結子

コラム 空きコマ何する？

大学生になって初めてできた「空きコマ」という概念。学生はどのように過ごしているのでしょうか？今回は県大 jiman の学生スタッフに聞いてみました！

空きコマに何をしていることが多いですか？

・課題をする、眠る

→1・2年生の回答はこの2つが多かったです。必修科目の多さからですね。

次の講義に備えるこの時間が休日の充実度を変えるかもしれません。

・ゼミ、研究、就活に関する時間

→3年生の回答です。専攻・就職に割く時間が多くなっていきます。



▲毎週増え続ける課題

どこで過ごすことが多いですか？

・図書館、空き教室

→学年問わず多い回答でした。ポータルサイトで空き教室検索が出来るようになったので、活用していきたいですね。また、図書館では空調が効いているので快適に過ごせます。

・自宅（下宿先）

→下宿生の回答です。これも大学生ならではのですね。



▲気づいたら夜になっていた図書館

学部あるあるや空きコマ活用術を教えてください

・大学から少し歩いたところに琵琶湖を眺められるベンチがある。

琵琶湖を眺めながらのんびりしたり、コーヒーを飲むのが最高。冬は風で寒いけど。

・学部あるある。地域文化学科は図書館の滋賀県コーナーに行きがち。

・空きコマで課題をやらないと休日に大変なことが起こります。

・A7(湖風会館)の自習室もよく利用します。仕切りもあり、建物も綺麗で落ち着きます！



スタッフたちは課題や睡眠に時間をかけている人が多かったですが、他にはカフェにいたり学内バイトをしたりサークル活動に励んだりしている人たちもいます。自分に合った空きコマ時間を過ごしていきたいですね。

滋賀県立大学 SDGs week (2022年11月5日～11日)

県大では、2030年のSDGsの達成に貢献する取組を行っています。
2022年11月5日から11日まで「SDGs week」として、SDGs学生実行委員が企画した取組を実施しました。SDGs学生実行委員は学内で募集し、SDGsの取組に興味のある学生11名が集まりました。

【学生実行委員によるオンライン企画会議】



「SDGs week」の企画では、多くの県大生にSDGsを身近に感じてもらいたいという学生実行委員の思いがこもっています。

1. 基調講演・鼎談 (5日)



11月5日(土)に千葉エコ・エネルギーシステム(株)の馬上氏を招聘して「大学と地域との連携によるCO₂ネットゼロへの取組」をテーマに基調講演がありました。その後、馬上氏と本学の工学部秋山准教授と環境科学部白木講師による意見交換を行いました。カーボンニュートラル社会の実現に向けて大学が果たす役割について、本学にとっても有意義な意見交換となりました。

2. GINZA CHAIRING CAFE (7日)



彦根市の銀座商店街の空きスペースに椅子を置いて座る「チェアリング」を実施しました。普段とは異なる視点でまちを見ながら、地域の人と学生が、まちの将来や可能性を話し合いました。

3. SDGs茶論 (11月8日から11日)

日替わりでSDGsのテーマに沿ったゲストを迎え、学生との対話を通じて、地域や社会の課題解決への道筋を考えました。学生からは「講義では得られない、現場の声が参考になった。」「新たな地域とのつながりができた。」との感想が寄せられました。その一部の企画を紹介します。

【質の高い教育】(8日)



長浜バイオ大学の学生と県大生が、コロナ禍での学生のつながりや学びのあり方について意見交換しました。学生同士のつながりの重要性をあらためて認識しました。

【多様性・自由・共生】(9日)



イカハッチンプロダクション(長浜市に移住された女性によるグループ)の方と県大生が、自分たちのスキルを生かしながら「楽しく」仕事をし、地方で「楽しく」生きることについて話をしました。

【留学生とのトーク】(11日)



本学の留学生と教育における文化的差異について、英語を主としたトークセッションが行われ、参加した学生とコロナ禍で数少ない留学生との交流の機会が生まれました。

【HAFU(ハーフ)】(11日)



映画「HAFU」を上映した後、本学の人間文化学部河准教授と国籍や人種によらない社会の多様性について考えました。急激に多様化する日本社会が抱える課題について活発な議論や交流が行われました。

4. 県大ThanksCART (常設)

消費期限の近い食品や野菜などを寄付していただき、学生支援に役立てています。「もったいないをありがとう」を合言葉に地域連携・研究支援課でご寄付を受けています。学内外の皆様のご協力をお願いします。



担当：地域連携・研究支援課、地域共生センター

受賞・表彰 (学年は受賞時点)

学生

第24回まちづくり・都市デザイン競技 奨励賞

環境科学研究科環境計画学専攻博士前期課程 2年
大田 詩織・金川 大倫



環境科学部環境建築デザイン学科 4年
大家 成葉・榎藤 友菜
松田 杏奈・山内 祥平

令和3年電気関係学会関西連合大会

電子情報通信学会関西支部優秀論文発表賞
工学研究科電子システム工学専攻博士前期課程 2年
井上 正隆



第76回日本栄養・食糧学会大会 学生優秀発表賞

人間文化科学研究科生活文化学専攻博士後期課程 2年
水谷 天音



第76回日本栄養・食糧学会大会 学生優秀発表賞

人間文化科学研究科生活文化学専攻博士前期課程 1年
後藤 千尋

第71回高分子学会年次大会

優秀ポスター賞
工学研究科材料科学専攻博士前期課程 2年
奥野 敬裕



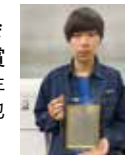
第7回滋賀テックブラングランプリ 企業賞(京セラ賞)

工学研究科材料科学専攻博士前期課程 1年
田中 萌
工学部材料科学科 4年
上野 春佳



プラスチック成形加工学会第33回年次大会

「成形加工'22」優秀学生ポスター賞
工学研究科材料科学専攻博士前期課程 1年
長田 直也



日本セラミックス協会第35回

秋季シンポジウム 優秀講演奨励賞
工学研究科材料科学専攻博士前期課程 2年
加藤 豪起



2022年度日本造園学会関西支部大会

研究・事例発表 関西支部賞
環境科学研究科環境計画学専攻博士前期課程 1年
椎葉 真結



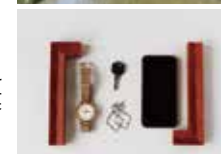
2022年度日本造園学会関西支部大会

研究・事例発表 関西支部賞
環境科学部環境建築デザイン学科 4年
山梨 由貴



budbrand 2022 AWARD

グランプリ
人間文化学部生活デザイン学科 4年
戸田 理菜



中信学生デザインコンテスト2022

最優秀賞
人間文化学部生活デザイン学科 3年
宇佐美 董



中信学生デザインコンテスト2022

佳作
人間文化学部生活デザイン学科 4年
中谷 華世



教員

令和4年度日本栄養・食糧学会

奨励賞
人間文化学部生活栄養学学科
准教授
今井 絵理



第16回日本セラミックス協会関西支部学術講演会

学術講演奨励賞
工学部材料科学科 講師
鈴木 一正



団体

第58回滋賀県吹奏楽コンクール 金賞 吹奏楽部



人事

着任 2022年6月1日付



子安 恵子
人間看護学研究院
講師

退職 2022年6月30日付

濱野 裕華 人間看護学研究院 助手

退職 2022年9月30日付

山崎 泰寛 環境科学研究院 准教授

退職 2022年11月30日付

鈴木 一正 先端工学研究院 講師

滋賀県立大学 公式 Instagram ページ

[アカウント] @univ_shigapref

[URL] https://www.instagram.com/univ_shigapref/



学生 Instagram スタッフ活躍中!
ぜひ、フォローしてください!

滋賀県大イベントカレンダー

新型コロナウイルス感染症の影響により変更となる可能性があります。

2月

- 1月31日(火)～6日(月) 後期定期試験
7日(火)～10日(金) 学内業界研究会(オンライン)
10日(金)～12日(日) 地域活動実践ターム
25日(土)～26日(日) 一般選抜試験(前期)

3月

- 12日(日)～13日(月) 一般選抜試験(後期)
13日(月)～4月7日(金) オリエンテーション(在学生)
21日(火 祝) 学位記授与式

4月

- 6日(木)～7日(金) オリエンテーション(新入生)
7日(金) 入学式
10日(月) 前期授業開始

5月

- 13日(土) TOEICテスト

6月

- 10日(土) 体育会「京滋戦」(未定)
17日(土) 大学祭「湖風夏祭」(未定)

7月

- 22日(土)～23日(日) オープンキャンパス(未定)
31日(月)～8月4日(金) 前期定期試験

▽県大jiman31号についてご意見をお寄せください。

(下記QRコードを読み取ると、Webからアンケートの回答ができます)

